



医療法人 みどり会 枚方市藤阪中町3番20号 ☎072-868-2071
 URL <http://midori.jpn.org/> E-mail midorii@io.ocn.ne.jp

社会福祉法人 松樹会 枚方市交北2丁目10番1号 ☎072-898-2197
 URL <http://www.syoujukai.org/> E-mail ikoinosato@syoujukai.org

編集責任者：理事長 中村 猛
 編集：季刊誌編集委員会



第69号御挨拶

理事長 中村 猛

皆さんこんにちは。

真夏がやってまいりました。今年の梅雨シーズンも6月後半にあっけなく短い期間で終わり、40℃を超える記録破りの猛暑が各地で発生して熱中症対策が叫ばれています。早朝の涼しい頃の毎日のウォーキングを日課としていますが、あたりの草木の緑が次第に濃く密に茂り、自然の躍動を受け止めています。路端の隅間から、塀のわずかの隅間から芽をふき、葉をひろげた雑草のたくましさは生命の尊い継承のシンボルであります。最近の毎日は、社会のコロナ禍とウクライナ戦争がいつも頭にこびりつき、離れた事はありません、世界中の人々がこの2つの難題の将来の光を求めている事でしょう。

ある人は有史来・感染症の拡大は2年半以上続いたことがなく、今回も、歴史的考察を鑑みると、そろそろ終息に向かうと希望に満ちた予想を言っていました。是非ともそうあって欲しいものです。又、ウクライナへのロシア侵攻は残酷、悲惨な戦争を道具として平和に暮らす人々を町を

- ・山野を破壊に至らしめる人災の最たる悪行です。何故世界のほぼ全ての人々が反対する戦争を独裁者の指揮に委ねる・戦争を阻止できず、歴史が繰り返されるのでしょうか。
- ・戦争は駄目、言論の自由をはじめとする基本的人権を守る世界憲法が定められ絶対的不可侵のこの鉄則を打ち立てたいものです。
- ・朝のウォーキングの最後の自宅裏口で、片隅に目をやると、塀の隙間から伸びた一凜の白い花が平和と明るい夢を投げかけて微笑みを堪えて。そうだ！ そうだ！ とうなづいていました。さあ、今日も頑張らなくっちゃ、暑さ厳しく、くれぐれも御自愛下さい。



リハビリ街道の緑化計画

リハビリテーション部 部長 羽田 崇

中村病院 QR



中村病院ではリハビリのため、病院の外周400mをぐるりと歩ける『リハビリ街道』が整備されています。東海道五十三次にちなんで日本橋から箱根、枚方宿まで各所に距離を表示した看板を設けており、たくさんの方がリハビリに励んでおられます。

このリハビリ街道で、より季節感を感じて頂くために花や草木を植える緑化プロジェクトが3月よりスタートしました。園芸もりハビリのひとつと考えて、入院患者様とスタッフが協力して定期的に花の植え替えを行っています。車椅子の方が作業しやすいように、腰高の大型プランターを設置して季節のお花畠を作っています。また、病院裏では野菜も収穫しており四季を満喫しています。ぜひご覧ください。





リハビリテーション医療チーム リハビリテーション科 部長 泉 知子

リハビリテーション科は、疾患、障害、病態などにより低下した機能と能力を回復させ、残存した障害や不利益を克服する事を目指す科ですが、近年少子・超高齢化の影響でリハビリテーション科がカバーする領域は大変幅広くなっています。

当院でも急性期・回復期病棟のリハビリテーション、退院後の外来・通所・訪問リハビリテーションに加えて、痙縮、子どもとの発達障害、摂食嚥下機能障害の治療を、多くの専門の職種とともに医療チームをつくり、診療を実施しています。

痙縮治療では、筋電刺激装置を併用することで、より効果的な治療を行っており、日常生活動作が行いやすくなる、介護負担の軽減や痛みを和らげるなど、生活の質の向上を図っています。

子ども発達障害の外来リハビリテーションは、近隣の幼稚園からの要望もあり令和3年3月に開始しました。現在5歳から12

歳の子ども達が外来に来ています。皆少しずつ成長がみられてきており、今後も子ども達の可能性を引き出し、生き生きとして生活をサポートしていくようスタッフ一同頑張っています。

疾患に高齢化が加わり摂食嚥下リハビリテーションの普及・啓発活動の拡大も重要で当院でも出来るだけ早期に嚥下チームが介入し、嚥下障害の状態を正しく評価し、訓練につなげています。

また、関西医大付属病院と連携し、臨床研究などにも力を入れて技術や質の向上を目指しています。

今後も中村病院リハビリテーション医療チームをよろしくお願いします！



健診センターの成長を見据えて

健診科主任 榎根 聰

健診課の榎根と申します。

日頃、当院の健診センターをご利用いただき感謝申し上げます。お陰様で、当健診センターをご利用して頂いている企業様や、個人のご利用者も増えてきました。

ご存じのように健診は1年に一度、皆様の生活習慣を見直す大切な機会の場となっていますので、ぜひ多くの方にご利用いただければと思います。

私たち健診スタッフは、日々ご利用者のスムーズな健診を

心がけておりますが、お気づきのことがあればいつでもお声かけ下さい。

また、本年の事業計画ではご利用者の満足度をあげることを目的に、健診システムのリニューアルを検討しています。

引き続き我々健診スタッフは人との繋がりを大切にし、誠実で丁寧な対応で地域の皆様に寄添える健診センターとして少しづつですが成長して行きたいと思います。

どうか今後ともご利用の程よろしくお願い致します。



食中毒予防のポイント

管理栄養士課長 樋口朋宏

これから季節は細菌性食中毒が発生しやすい時期となります。細菌性食中毒を予防するには3つの原則を理解し、実践する事が大切です。

①【菌をつけない】②【増やさない】③【やっつける】の3点です。①【菌をつけない】は汚れた手や、器具、場所で食べ物を触らない事です。いくら加熱した食品でもその後に

汚されれば意味がありません。②【増やさない】菌は37度前後で爆発的に増えます。食品は常温で放置せず、冷蔵庫に入れるなどして下さい。③【やっつける】これは殺菌です、一般的には火を入れるという事になると思います。しっかりと中心まで火を入れて殺菌する事が大切です。以上の3点を守って、この季節を乗り越えていきましょう。

中村記念クリニック・みどりの館



訪問リハビリテーションのご紹介

理学療法士 田中亮



梅雨も明け暑さが増す一方、まだまだマスクは手放せない…。厳しい夏になりますが、しっかりと体調管理をしながら乗り切っていかなければと思います。

さて、今回は中村記念クリニックの訪問リハビリを紹介させていただきます。現在、理学療法士6名・作業療法士2名・言語聴覚士1名で、枚方市全域と八幡・京田辺・交野の一部地域にお住まいの方にサービス提供をさせていただいております。病院の退院直後から長期在宅療養の方まで、幅広いご利用者様を対象としております。『治療』だけではなく『生活』を見据え、ご本人を取り巻く環境(ご家族や住環境など)、そして何よりも個性やライフスタイルを尊重したサービス提供が私達訪問リハビリの

役割と考えています。

訪問診療医の医学的管理や連携の元に訪問リハビリを提供している事業所は世間的にも数少なく、ここが当訪問リハビリの一番の強みと自負しております。

今後も、みどり会の在宅サービスを担う一翼として、地域の皆様に貢献していくよう精進していくと考えております。また、今後もこの場をお借りして訪問リハビリの取組をご紹介させていただければと考えております。





m 新たな通所リハビリに向けて

なごみの里 リハビリテーション部 課長 大林 浅美

なごみの里通所リハビリテーションは現在、長時間（9:30～16:00）と短時間（13:00～14:00）で運営しています。そして、今年の秋頃から午前半日枠（9:30～12:30）のサービスも開始する予定です。

午前半日枠の内容は、個別リハビリはもちろんのこと、必要な方は入浴のご利用も可能です。生活の中の目標達成に向けて利用中、積極的に運動や活動を行いたい方や、1日のご利用ではお身体に負担がある方などに、この半日枠を活用していただければと考えております。

在宅で生活する方やそのご家族の状況や事情はそれぞれ異なり、さまざまなニーズがあるからこそ医療・介護サービスは多様化し、選択肢も増えています。そこで、老健施設の通所リハビリの役割を改めて認識しながら、新たな運営に向けての準備を進めています。具体的には、リハビリと介護職協働で行う小集団の運動プログラムの実施、新たなトレーニング機器の導入、感染状況を

みながらコロナ禍で中止していた外部講師の教室型レクの再開などを現時点では検討しております。また、ご利用者の皆さまへのアンケート調査やケアマネジャー様からのニーズ調査を行い、より充実したサービス内容や環境、設備を整えることに繋げていきます。現在ご利用されている方、これから新たに会っていく方にとって、「なごみの里を選んで、通って良かった」と思っていただけのよう、皆さまにご協力いただきながら職員一同、チーム一丸となり取り組んでまいります。



半日枠スケジュール(案)

9:00～9:30	送迎車にてお迎え 到着次第健康チェック
9:30～12:00	個別 リハビリ
12:00～12:15	自主 トレーニング ・ 体操等
12:30～	入浴 (必要な方)

リハビリ会議
(ご本人・医師・ハラ・ケアマネ等参加)

m 新しい事を取り入れながら初心に返って なごみの里 事務部 主任 薮下 貴昭

介護業界の人材不足が深刻化していく中、なごみの里でも新たな人材の確保・定着という大きな課題に取り組んでいます。

また今現在、現場で活躍している職員が業務上抱える悩みや問題を探り、その中から施設としての改善点を見つけて対応する事も、貴重な人材が充足していく上で大事な要素だと捉えています。

結果としてそれがご利用者により良いサービスを継続提供していく事にも繋がります。

その改善点の中にはご利用者に対するスタッフの介護負担を軽減させて、業務の効率化を図る目的で、様々な場面のICT

化を進めていく事もひとつ含まれるかもしれません。

昨年導入した移乗ロボットをはじめ、居室の見守りセンサー、浴室には最新の特殊浴槽など、新しい設備を積極的に導入していく、そこになごみの里がこれまで培ってきた現場スタッフの経験や環境がプラスされる事でより大きな効果として表れる事の期待が持てます。

ただそういった新しい事を取り入れていく中で、本来介護職員として大切にする「ご利用者一人ひとりと丁寧に向き合うケア」を心がける初心の気持ちに改めて立ち返り、バランスよく活用していく事を意識して進めてまいります。

在宅支援

m 保健事業と介護予防の一体的実施について

枚方市地域包括支援センターみどり 所長 伊内 康宏



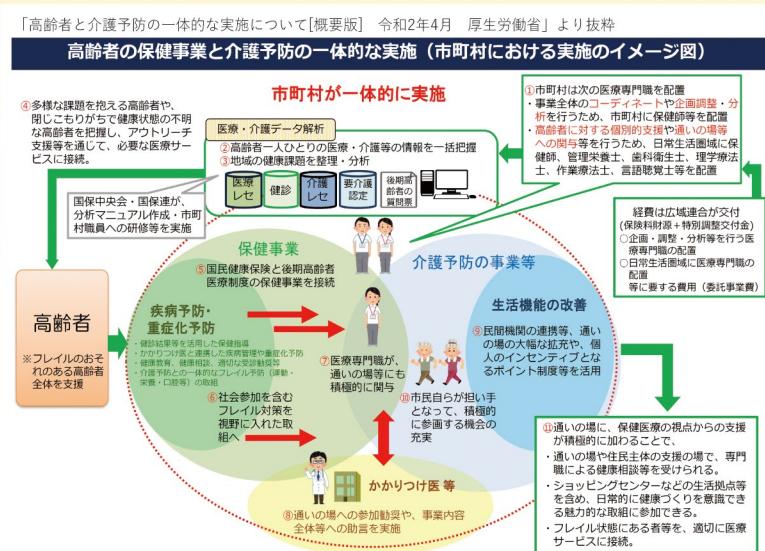
令和4年4月から地域包括支援センターで、保健事業と介護予防の一体的実施が新たに開始されます。

私ども包括みどりには年間2,000件以上総合相談があり、高齢者のさまざまな健康相談にも関わっています。直近の例として、特にメンタルヘルスケアの相談が数多く見られます。これまで包括は相談内容を「質的」に積み重ねて、地域の健康課題を捉えてきました。

この4月から市から提供されるシステムデータ（KDBシステム）を活用することができます。この統計情報等の「量的」データにおいても、同様にメンタルヘルスケアの課題が浮き上がっていました。

このように、校区民から寄せられる相談内容に加え、健康課題の妥当性を強めて、焦点を当てて取り組んでいくことができるようになります。

一体的実施を適切に行って、地域に必要な取り組みをさらにすすめてまいります。



~2024年度までに全ての市区町村において一的な実施を展開(健康寿命延伸プラン工程表)~

松樹会決算理事会、評議員会開催報告 たんぽぽ田口 管理者 福本 悅子

6月22日に、決算理事会を迎えました。令和三年度は、新規事業として、地域密着型特別養護老人ホームいこいの里長尾、看護小規模多機能ながお、いこいの里新築棟の3施設が運営を開始いたしました。全体的にコロナの影響もあり、利用は伸び悩みましたが、各事業所の協力の下、一定の成果を出すことが出来ました。

デイサービスではコロナの影響で利用を控える方が増えましたが、その分、多機能部門では、お家におられる方への訪問サービスを充実する事が出来たり、短期利用のサービスを導入したため、利用者様の様々なご要望に取り組む事が出来ました。

また、職員の育成においては、外部研修はコロナの為中止で参加できなかったものの、法人内での個別研修・オン

ライン研修の取り入れを行ない、スタッフのスキルアップを図る事ができました。

令和4年度は、松樹会発展の年として、利用者様の更なるご要望、サービスの満足度向上の目標達成に向け各部門で取り組み研鑽をおこない、新たな利用者様の獲得を図る所存でございます。まずは、安心して通えるデイサービスへの取り組み、全職員のスキルアップ講座開講など、新たな取り組みを予定しています。

また、入居者様には、先駆けてコロナワクチン4回目の接種を施行させていただきました。引き続き職員の感染予防にも徹底して取り組み、ご利用者の皆様に、豊かな余生をサポートさせていただけるよう邁進して参ります。

松樹会2022年度人材育成計画について

社会福祉法人松樹会 本部長 藤井知香子

松樹会は今年度、「三幸福祉カレッジ」による介護業界特化プログラム研修を行います。

全職員が学びを元に行動改革を行い、チーム力の強化と仕事へのモチベーションをあげ、働き甲斐のある職場を作ることにより、次世代の人材育成に繋げていきたいと考えております。

2022年 社会福祉法人松樹会 研修計画								
6月	初級研修Ⅰ	・社会人基礎力向上	10月	中級研修Ⅱ	・育成の基本 ・信頼関係コミュニケーション	2月	上級研修Ⅲ	・人材指導・育成スキル
7月	初級研修Ⅱ	・報連相・指示の受け方・協働	11月	中級研修Ⅲ	・伝え方、伝わり方	3月	クレーム対応研修	・利用様心理を理解したクレーム対応
8月	ハラスメント防止研修	・ハラスメント基本	11月	介護の基本	・介護現場基礎	4月	接遇マナー研修	・利用者様・家族様から信頼される接遇マナー
8月	腰痛予防	・介護現場基礎	12月	上級研修Ⅰ	・組織における管理職の理解	5月	コミュニケーション研修	・協働のためのコミュニケーション
9月	中級研修Ⅰ	・中堅職員の役割 ・リーダーシップ ・フォローアップ	1月	上級研修Ⅱ	・管理職として「人」の魅力の重要性			

光触媒酸化チタンコートによる感染予防

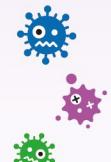
いこいの里藤阪 施設長 岡崎基



この度、社会福祉法人松樹会ではご利用者が行きかう在宅サービス事業所を中心に、光触媒酸化チタンコーティングを実施しました。初めて聞かれた皆さんも「光触媒?」「チタンがどうして感染予防?」と疑問がたくさんでますよね。初めて聞いた私も「?」がたくさんありました。

まず、酸化チタンの光触媒作用とは、1967年に東京大学の研究で発見され、酸化チタンに光が当たると、空気中の酸素や水分に反応し活性酸素または活性水酸基を発生。それらが接触する有機物（菌、ウイルス、臭い等）を酸化分解あるいは不活化させる作用をいいます。今回、光触媒酸化

チタンをナノレベルの粒子にし、コーティングすることで接触を通した感染予防を実施することができました。目に見えないウイルスではありますが、光触媒酸化チタンコートティング(ナノゾーンコート)の実施することで、新型コロナウイルスによる事業所を休止することを無くし、安心したサービスを提供し続けられるように取り組みたいと思います。



各施設連絡先

社会福祉法人 松樹会

特別養護老人ホーム いこいの里 072-898-2197
デイサービスセンター いこいの里
サテライト いこいの里 072-849-2210
特別養護老人ホーム いこいの里藤阪 072-868-2192
特別養護老人ホーム いこいの里長尾 072-868-1893
ケアハウス つくしんぼ 072-868-2190
デイサービスセンター 長尾 072-868-2191
ケアハウス つくしんぼ 藤阪 072-868-2197
グループホーム たんぽぽ田口 072-898-2193
小規模多機能ホーム ふじ 072-868-2193
看護小規模多機能ホーム ながお 072-868-1894
居宅介護支援センター つくしんぼ 072-898-2196
障害福祉サービス ミルキーウェイ 072-867-5690

医療法人 みどり会

中村病院 072-868-2071
中村記念クリニック 072-868-2070
介護老人保健施設 なごみの里 072-868-2072
サテライトなごみの里 072-818-2071
デイサービス 長尾の里 072-818-2071
有料老人ホーム みどりの館 072-868-2727
グループホーム たんぽぽ長尾 072-868-2195
ケアプランセンター なごみ 072-818-7533
訪問介護ステーション みどり 072-868-4392
地域包括支援センター みどり 072-845-2002
研修所 みどりの樹 0264-44-2550

ルーク山田眼科 072-868-0880

編集後記

皆様、みどりの風69号(夏号)をお届けさせていただきます。コロナが始まった頃から両法人の理事長が代表となり「枚方交野を良くする会」を発足され各界の有志の方々を中心に超党派で医療福祉、政治、経済、文化、芸術等の講演会、勉強会を重ねられ、その事務局を担当させていただいております。お陰様で会を重ねて32回の役員会、定例会で様々な講師の方に御協力をいただき中村病院を主会場としてコロナ感染対策には注意を払いながら勉強会を続けております。機会があればこの季刊誌みどりの風にもその一端を掲載させて頂ければと考えております。

ますますの酷暑にお身体を崩されませぬよう、どうかご自愛専一にお過ごしください。今後とも御支援、御指導の程よろしくお願い致します。

みどりの風編集委員会

連絡先 072-868-2071 法人本部 松田